

松田町木造建築物耐震診断費

補助金交付制度について

この制度は、地震に強い安全なまちづくりを目指すために、建築してから一定の期間を過ぎた木造個人住宅の『耐震診断』に要する経費の一部を松田町が補助するもので、耐震診断を希望する町民のみなさんに、「神奈川県木造住宅耐震診断講習会」を受講した「木造建築技術者」等の方により調査を行っていただき、町民の耐震対策を支援していこうとするものです。

また、この耐震診断結果をもとに住宅の耐震改修工事をお考えの方には、専門家による耐震補強設計を行うことをお勧めいたします。

●対象建築物 … 補助の対象は、次の条件をすべて満たすものとします。

建 物	木造の個人住宅（自己用）であること （一部店舗併用の住宅、2世帯住宅は含みますが、ツーバイフォー住宅やアパート、長屋は対象外となります。）
規 模	2階建て以下であること
建築時期	昭和56年以前に建築されたもの （昭和56年6月1日以降に増築されたものは対象外となります。）

●補助金額…耐震診断に要する経費の全額、但し30,000円を限度とします。

●お申し込み方法

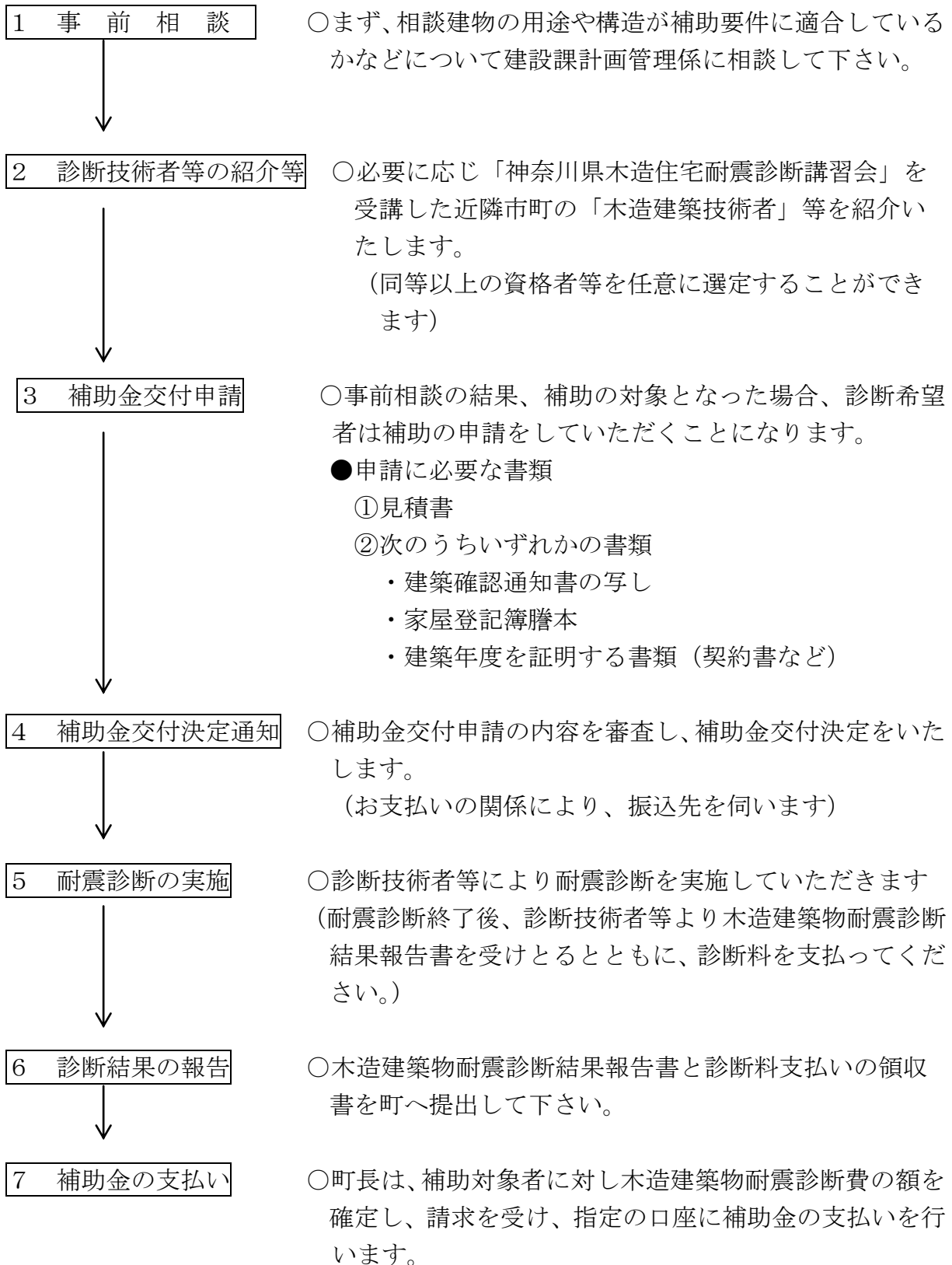
耐震診断を希望される方は、建設課（計画管理係）窓口にて事前相談の後、補助金交付申請を行って下さい。

事前相談の際、希望される建築物が補助の対象となるかなどチェックいたしますので、住宅の建築年度、構造・規模等を調べておいて下さい。

また、来庁の際には、建築確認通知書等建築年度を証明する書類をご持参下さい。

※（次ページ 事業の流れ 3 補助金交付申請を参照して下さい。）

●事業の流れ（補助金交付の流れ）



第1号様式(第6条関係)

年 月 日			
松田町長		殿	
		住所 申請者 氏名 (印) 電話番号 ()	
平成 年度松田町木造建築物耐震診断費補助金交付申請書			
松田町木造建築物耐震診断費補助金交付要綱第6条の規程により、次のとおり申請します。			
建築物の所在地	足柄上郡松田町		
建 築 概 要	敷地面積	m ²	
	用 途	<input type="checkbox"/> 専用住宅 <input type="checkbox"/> 2世帯住宅 <input type="checkbox"/> 店舗併用住宅(店舗用途)	
	階 数	階建 (地下の有無 : 有 ・ 無)	
	面 積	1階	m ² : 2階
建 築 年 度	昭和 年	耐震診断予定日	年 月 ごろ
交 付 申 請 額	円		
添付書類 ・ 見積書 ・ 次に掲げるもののうち、いずれかの書類 ・ 建築確認通知書の写し ・ 家屋登記簿謄本 ・ 建築年度を証明するもの			
※受付印			

第3号様式(第8条関係)

年 月 日	
松田町長 殿	
住所 申請者 氏名 (印) 電話番号 ()	
年度松田町木造建築物耐震診断費補助金内容変更等承認申請書	
年 月 日付け松第 号をもって交付決定のありました 平成 年度松田町木造建築物耐震診断費補助金について、松田町 木造建築物耐震診断費補助金交付要綱第8条の規定により、補助金 の申請内容を次のとおり変更したいので申請します。	
変更の種類	1. 申請内容の変更 2. 補助金事業の中止 3. 補助事業の廃止
変更内容	
変更理由	

第5号様式(第10条関係)

年 月 日			
松田町長 島村俊介 殿			
申請者		住所 氏名 電話番号	⑩
平成 年度松田町木造建築物耐震診断費補助金実績報告書			
平成 年 月 日付け松第 号をもって交付決定のありました平成 年度松田町木造建築物耐震診断費補助事業については、次のとおり事業が完了しましたので報告いたします。			
建築物の所在地			
建 築 概 要	敷地面積		
	用 途	<input type="checkbox"/> 専用住宅 <input type="checkbox"/> 2世帯住宅 <input type="checkbox"/> 店舗併用住宅(店舗用途)	
	階 数	階建 (地下の有無 : 有 ・ 無)	
	面 積	1階 m ² : 2階 m ² : 延べ面積 m ²	
建 築 年 度	昭和 年	耐震診断日	平成 年 月
補 助 金 交 付 決 定 額	円		
添付書類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第5号様式木造建築物耐震診断結果報告書の写し ・ 領収書 		
※受付印			

木造建築物耐震診断結果報告書

年 月 日

木造建築物耐震診断技術者	
氏 名	Ⓔ
電 話 番 号	()
※認定番号 その他	

木造建築物の耐震診断結果

(2/5)

年 月 日に耐震診断の依頼を受けた建築物を耐震診断した結果は次のとおりです。

総合評点及び所見

総合評点	所見

耐震診断表

診断項目	評点(注1)	診断項目	評点(注1)
A. 地盤・基礎		D. 筋かい	
B. 建物の形		E. 壁の割合	
C. 壁の配置		F. 老朽度	
総合評点	$A \times B \times C \times D \times E \times F =$		

(注1)2階建ての場合は、1階建て部分だけで診断します。同じ項目内に該当するものが2つ以上有る場合には、数量の最も低いものを選びます。

耐震判定表

総合評点	判定	今後の対策
1.5以上	安全です	今後も維持管理を充分にして下さい
1.0以上~1.5未満	一応安全です	専門家の精密診断を受ければなお安心です
0.7以上~1.0未満	やや危険です	専門家の精密診断を受けて下さい
0.7未満	倒壊の危険があります	是非専門家と補強について相談して下さい

木造建築物耐震診断の内容について

今回の木造住宅耐震診断は、建設省住宅局監修の「わが家の耐震診断と補強方法」に基づき、概略的な診断を行い、これに木造住宅耐震診断ができる専門家の現地調査確認の評価を加味したものです。

今後、この耐震診断結果を受けて、どのように補強したら良いのかといった点については、必要に応じて、建築士等の専門家にご相談ください。

耐震診断項目別調書

(3/5)

調査概要

現地調査日時	年 月 日	午前・午後	時
事務所等名称			
診断者名	登録番号	第	号
委託 住所	氏名 ()		
建築物地番	松田町	住居表示	
建築物確認番号	昭和 年 月 日	第	号
竣工年月日	昭和 年 月 日	経過年数	年
建築物用途	・専用住宅 ・二世帯住宅 ・店舗併用住宅(店舗用途)		
構造・規模	・平屋建て ・2階建て		
床面積	1階床面積 m ²	2階床面積 m ²	延べ床面積 m ²

A. 地盤・基礎

診 断 項 目	評 点			A
	良い・普通	やや悪い	非常に悪い	
鉄筋コンクリート造布基礎	1.0	0.8	0.7	
無筋コンクリート造布基礎	1.0	0.7	0.5	
ひび割れのあるコンクリート造布基礎	0.7	診断対象外(注2)		
その他の基礎(玉石、石積、ブロック積)	0.6			

良い・普通……岩盤、砂れき層、洪積大地または同等以上の地盤で(下記以外の地盤)
 やや悪い …… 30mよりも浅い沖積層、埋立地および盛土地で大規模な造成工事(転圧・地盤改良)によるもの

非常に悪い…… 30mよりも深い沖積層(軟弱層)、海・川・池・沼・水田等の埋立地
 および丘陵地の盛土地で小規模な造成工事によるもの、液状化の可能性があるところ

(注2) 診断対象外になる場合は、専門家の精密診断を受けて下さい。

B. 建物の形

診 断 項 目	評 点	B
整 形	1.0	
平面的に不整形	0.9	
立面的に不整形	0.8	

整 形…… 1Fプランに入り隅か所、3か所以下を目安とする。

平面的に不整形…… 1Fプランに入り隅か所、4か所以上を目安とする。

立面的に不整形…… 2Fが1Fより突出している。

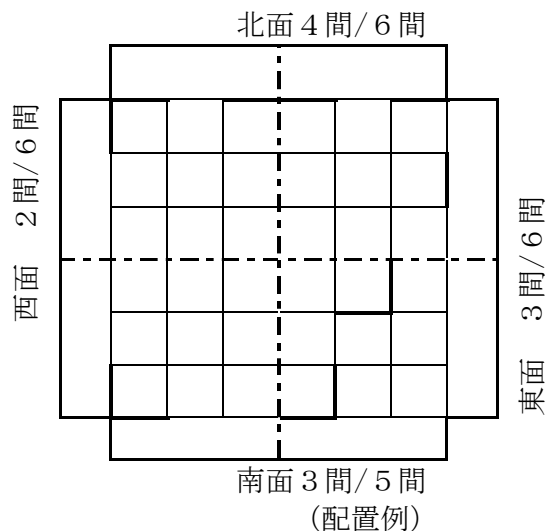
C. 壁の配置

(4/5)

診断項目	評 点	C
つりあいの良い配置 ……壁の配置 0.2 以上	1. 0	
外壁の一面に壁が 1/5 未満 ……壁の配置 0.2 未満	0. 9	
外壁の一面に壁がない(全開口)…壁の配置 0	0. 7	

建物の平面（1回）で中心から手前側にある立面（外壁面）について判定します。

配置	壁の長さ/各面の長さ=壁の配置
東面	1. 75/3. 75=0. 47
西面	1. 5/3. 75=0. 40
南面	1. 5/5. 50=0. 27
北面	2. 0/5. 50=0. 36



D. 筋かい

診 断 項 目	評 点	D
筋 かい あり	1. 5	
筋 かい なし	1. 0	

E. 壁の割合

診断項目	評点	診断項目	評点	E
1.8~	1. 5	0.5~0.8	0. 7	
1.2~1.8	1. 2	0.3~0.5	0. 5	
0.8~1.2	1. 0	~0.3	0. 3	

別紙で求めた値から評点をもとめます。

F. 老朽度

診 断 項 目	評 点	F
健 全	1. 0	
老朽化している	0. 9	
腐ったり、白蟻に食われたりしている	0. 8	

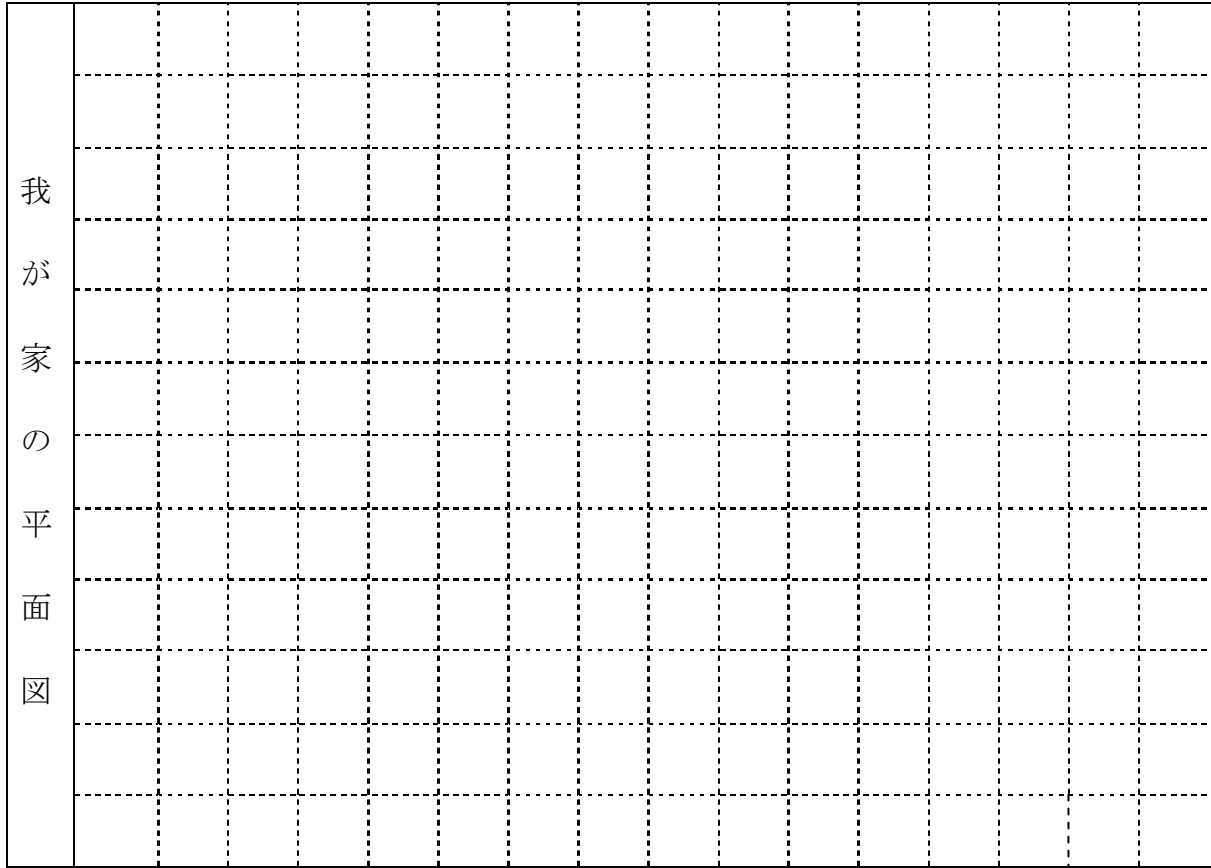
健全…新築時の良い状態が続いている

老朽化している…建築後年月を経過し、屋根の棟の線や軒先の線が波打っていたり、あるいは柱に傾きがあり、建具のたてつけが悪くなっているなどの場合です。

腐ったり、白蟻…土台をドライバーで突いてみて、ガサガサになっているかどうかで食われている 調べます。特に建物の北側と風呂場周りは念入りに調べます。

平面図（間取り図）

（2階建ての場合は1階の平面図）



1 間

壁の割合の計算（はり間方向の壁長さ 間、桁行き方向の壁長さ 間）

イ. 壁の長さの合計（間）	ロ. 建坪（坪）	ハ. 単位面積当りの壁の長さ（イ/ロ）	ニ. 必要壁長さ	ホ. 壁の割合（ハ/ニ）

E. 壁の割合

イ. 壁の長さの計算…建物のはり間（縦）方向、桁行き（横）方向別々に、壁の長さの合計を計算し、小さいほうの値（間）を採用。

ロ. 建坪の計算…平面図から、建坪を坪単位として求める。

ニ. 必要壁長さ

屋根	階数	平屋	2階建
軽い屋根（鉄板、スレート葺き、石綿板等）		0.20	0.52
重い屋根（かや、瓦葺き等）		0.27	0.59

第7号様式(第11条関係)

年 月 日	
松田町長 島村俊介 殿	
住 所 申請者 氏 名 電話番号	
平成 年度松田町木造建築物耐震診断費補助金交付請求書	
平成 年 月 日付松第 号をもって補助金の確定のありました平成 年度松田町木造建築物耐震診断費補助金について交付を受けたいので請求し ます。	
補助金請求額	円
振込金融機関名	銀 行 信用金庫 農 協 支店
口座の種別	普通 ・ 当座
口座名義人	
口座番号	

※太枠内には、口座振替を希望する場合のみ記入して下さい。

